

CPD時間早見表

単位区分	項目コード	内容	条件	CPD時間
コンサルタント実務従事時間数	3.1.1	安全衛生診断 リスクアセスメント 企業内指導等	実務時間数を1CPDとして 計算 年間の上限を定めない	1CPD/時間
	3.1.2	契約企業等との講 演・教育・顧問契 約等を結んでいる 場合	実労働時間数=1CPD (年間上限あり)	1CPD/時間 上限 30CPD/年間
(スポット依頼事項) 実時間数を1CPDとして 年間 20CPD まで追加可能 上限 50CPD/年間			年間上限 上記 30CPDと 併せて50CPDまで	
研修会等の 講師	3.2.1	研修資料等の制作	都度、資料作成準備を行う 年間の上限を定めない	担当時間数×3
	3.2.2	既成教科書使用	既にある資料にて行う 年間の上限を定めない	担当時間数×1
自己の専門的 知識・技能の研 鑽	3.3.1	専門分野の団体等に おける会員活動	1 団体 15 CPD/年、複数団体の 場合は2 団体目以降は 5 CPD を加算	25 CPD (年間上限)
	3.3.2	専門分野に係わる論 文発表等	査読付き	10 CPD
		同	査読なし	5 CPD
	3.3.3	本会および支部主催 の発表会等における 活動	事例発表、本会機関誌への掲 載、診断事例の応募等	5 CPD
	3.3.4	図書の発行 委員会報告書	市販される本 専門委員会等における報告書 (主査に限ります)	20 CPD
同章の執筆		専門委員会委員報告書を含む	5 CPD	
研修会等への 参加	3.4.1	本会本部および支部 主催の研修会 安全衛生実地研修	ブロックを含む 年間の上限を定めない	受講実時間数× 2 CPD
	3.4.2	各種学会、団体の行 う研修会	受講確認のできるものに限る 1 回 10CPD までとし、年間の上 限を定めない	受講実時間数× 1 CPD
	3.4.3	放送大学 Web セミナ 課程内博士	安全衛生のセミナーの受講 1 科目履修を単位とし、年間の 上限を定めない	1 科目履修に付 き 25 CPD
学位の取得	3.5.1	安全衛生関係	論文による博士号に限る	200 CPD
社会・人文科学 系の研修	3.6.1	研修内容は自己選択 による	読后感等の文書作成・保存 年間 5 CPD を限度とする	研修会等の受講 実時間数× 1
その他	3.7.1	上記各号に該当しな い場合	研修委員会の決定による	

(注) 項番号をそのまま項目コードとし、プログラム化に用いる。